

# 定例記者懇談会次第

令和8年2月25日(水) 午後1時15分  
牧之原市役所榛原庁舎5階 庁議室

## 1 開 会

## 2 市長説明

- ◇ 令和8年2月牧之原市議会定例会 市長提出議案について …………… 資料1
- ◇ 令和7年度牧之原市一般会計補正予算案(第10号)の概要について …………… 資料2
- ◇ 令和8年度牧之原市当初予算(案)の概要について …………… 資料3
- ◇ 静波地区沿岸部活性化について …………… 資料4
- ◇ 令和8年度牧之原市役所組織体制(案)について …………… 資料5
- ◇ 静岡市消防局牧之原消防署榛原出張所落成式及び管理委任書  
交付式等について …………… 資料6

## 3 質疑応答

## 4 報道提供

- ◇ 令和7年度牧之原市夜間地震・津波避難訓練の実施について …………… 資料7
- ◇ 牧之原市公共施設予約システムの運用開始について …………… 資料8
- ◇ 相良油田の里公園「原油汲み上げと桜まつり」の開催及び  
油田資料館のリニューアルオープンについて …………… 資料9
- ◇ 地域幸福度(Well-Being)指標を活用した政策立案職員研修会の  
開催について …………… 資料10
- ◇ 地域おこし協力隊活動報告会・交流会の開催について …………… 資料11
- ◇ 新しい学校づくり報告会 ～みてみよう!ミライの学校のカタチ～  
の開催について …………… 資料12
- ◇ 牧之原市教育委員会表彰表彰式について …………… 資料13
- ◇ 勝林寺出張展示及びクラウドファンディング達成墓前報告  
について …………… 資料14

5 懇 談

6 閉 会

〈次回の記者懇談会〉  
令和8年4月3日（金）午後1時15分～



## 令和8年2月牧之原市議会定例会 市長提出議案について

補正予算 5件 当初予算 7件 条例制定 1件 条例改正 8件  
条例廃止 1件 その他 8件 (合計30件)

### 報告第 1号 専決処分の報告について

#### <税務課>

令和7年9月5日に発生した台風15号の竜巻災害により実施した住家被害認定調査において、携帯用小型ライトのストラップが切れライトが落下したことにより床のフローリング部分に傷を生じさせたことから、相手方との和解及び損害賠償金について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したので、同条第2項の規定に基づき報告する。

### 報告第 2号 専決処分の報告について

#### <建設課>

令和7年1月18日に市道勝間4号線を相手方軽自動車が行中、道路の陥没に右前輪を落輪し、ホイール等が損傷する事故が発生した。相手方からこの事故による損害について損害賠償請求訴訟を提訴され、裁判所より提示された和解案で相手方と和解するため、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したので、同条第2項の規定に基づき報告する。

### 報告第 3号 専決処分の報告について

#### <管理検査課>

令和8年1月14日にさざんか敷地内において、降車のためドアを開けたところ、強風によりドアが大きく開いてしまい、隣に駐車していた相手方車両の助手席側のドアミラーに接触した。相手方との和解及び損害賠償金について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したので、同条第2項の規定に基づき報告する。

**議案第 2号 静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について**

＜総務課＞

静岡県市町総合事務組合を構成する地方公共団体である、南伊豆地域清掃施設組合が、令和8年3月31日付けで解散することに伴い、規約について所要の変更を行う。3月3日（本会議2日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月3日】

**議案第 3号 吉田町牧之原市広域施設組合の共同処理する事務の変更及び吉田町牧之原市広域施設組合規約の一部を変更する規約について**

＜危機管理課＞

静岡地域消防運営計画が改定され、令和8年4月1日より現在吉田消防署が管轄している榛原地域については、牧之原消防署の管轄となり、旧吉田榛原消防庁舎は吉田町牧之原市広域施設組合として維持管理する必要がなくなるため、旧吉田榛原消防署の土地及び建物の財産の清算を進めるために規約の改正を行う。3月3日（本会議2日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月3日】

**議案第 4号 静岡市消防局牧之原消防署榛原出張所改修工事請負契約の一部変更について**

＜危機管理課＞

令和7年6月定例会において可決された、令和7年度静岡地域消防救急広域化事業 静岡市消防局牧之原消防署榛原出張所改修工事請負契約について、工事内容に変更が生じ、契約金額を変更することとなるため、牧之原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求める。3月3日（本会議2日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月3日】

**議案第 5号 令和7年度牧之原市一般会計補正予算(第10号)**

＜財政課＞

令和7年度の10回目の補正予算として編成するもので、決算見込みによる事業費の減額及び国の補正予算に係る経費の計上などについて、議決を求める。

＜その他＞

- ・繰越明許費の設定
- ・債務負担行為の追加、変更
- ・地方債の変更

なお、早期に措置すべき事案を含むため3月10日（本会議4日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月10日】

**議案第 6号 令和7年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）**

**＜国保年金課＞**

令和7年度の2回目の補正予算として編成するもので、今回の補正の主な内容は、繰入金の決定による減額と、繰越金の確定に伴う増額で、歳入歳出それぞれ8,116万円を増額し、補正後の予算総額を51億724万8千円とするもの。3月10日（本会議4日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月10日】

**議案第 7号 令和7年度牧之原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）**

**＜国保年金課＞**

令和7年度の2回目の補正予算として編成するもので、今回の補正の主な内容は、後期高齢者医療保険料の本算定結果による増額と、後期高齢者医療広域連合負担金の増額で、歳入歳出それぞれ6,318万1千円を増額し、補正後の予算総額を7億9,385万4千円とするもの。3月10日（本会議4日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月10日】

**議案第 8号 令和7年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）**

**＜長寿介護課＞**

令和7年度の2回目の補正予算として編成するもので、今回の補正の主な内容は、保険給付費等の決算見込みによる増額で、歳入歳出それぞれ1,959万2千円を増額し、補正後の予算総額を45億2,682万円とするもの。3月10日（本会議4日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月10日】

**議案第 9号 令和7年度牧之原市土地取得特別会計補正予算（第2号）**

**＜管理検査課＞**

令和7年度の2回目の補正予算として編成するもので、今回の補正の主な内容は、相良地域義務教育学校用地の一般会計への売払い内容の確定による減額と、相良地域義務教育学校用地の一般会計での買戻し面積の減少、榛原地域の周辺道路用地の購入見合わせによる減額で、歳入歳出それぞれ785万4千円を減額し、補正後の予算総額を4,310万5千円とするもの。また、用地交渉に時間を要しており、年度内の完了が見込まれなくなったことから、繰越明許費を設定するもの。3月10日（本会議4日目）の議決をお願いする。

【議決予定日：3月10日】

**議案第10号 牧之原市職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例**

＜総務課＞

国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律が令和7年4月1日に施行されたことに伴い、国との権衡を図るため、全部改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第11号 牧之原市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例**

＜総務課＞

人事院の給与勧告により、段階的に削減されていた配偶者の扶養手当が廃止されることに伴い、所要の改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第12号 牧之原市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例**

＜危機管理課＞

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正により、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額及び扶養に係る補償基礎額の加算額が改正されたため、所要の改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第13号 牧之原市細江コミュニティセンター条例の一部を改正する条例**

＜地域振興課＞

細江コミュニティセンター体育室兼多目的ホールの使用料の改定に伴い、所要の改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第14号 牧之原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例**

＜国保年金課＞

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の改正に伴い、令和8年度から子ども・子育て支援納付金の納付義務が課され、新たに国民健康保険の被保険者から子ども・子育て支援納付金を保険税として賦課徴収する必要があるため、所要の改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第15号 牧之原市立幼保連携型認定こども園の設置等に関する条例の一部を改正する条例**

＜子ども子育て課＞

令和9年度から牧之原市立地頭方こども園の民間移管を予定していることから、同園を市立園として規定している箇所の改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第 16号 牧之原市公立保育所民間移管審査委員会条例を廃止する条例の制定について**

＜子ども子育て課＞

指定管理者が管理をしている公立保育所の民間移管の妥当性を審査する牧之原市公立保育所民間移管審査委員会の組織及び運営に関して必要な事項を定めた条例について、同委員会が行うべき事業が終了し、条例の効力が失効したことから本条例を廃止する。

【議決予定日：3月24日】

**議案第 17号 牧之原市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について**

＜子ども子育て課＞

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律による改正後の子ども・子育て支援法第54条の3において準用する同法第46条第2項及び第3項の規定により、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定する。

【議決予定日：3月24日】

**議案第 18号 牧之原市手数料条例の一部を改正する条例**

＜都市住宅課＞

静岡県手数料徴収条例の一部が改正されたことから、静岡県からの移譲事務である、都市計画法の規定に基づく開発行為の許可の申請等及び、静岡県屋外広告物条例に基づく事務に係る手数料を改定するため、所要の改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第 19号 牧之原市水道事業給水条例の一部を改正する条例**

＜水道課＞

令和6年能登半島地震において、水道事業者が管理する配水管の復旧後、地元業者が被災したことにより、個人が管理する宅内配管の復旧が遅れ、家庭で水道が使用できない状況が長期化したため、市長が必要であると認めるときは、他の水道事業者又は他の水道事業者が指定した者に給水装置工事を施工させることができるよう改正を行う。

【議決予定日：3月24日】

**議案第 20号 令和8年度牧之原市一般会計予算**

＜財政課＞

一般会計の当初予算として提案するもの。（金額については現時点で未確定）

＜その他＞

- ・ 債務負担行為の設定
- ・ 地方債の設定

【議決予定日：3月24日】

## 議案第21号 令和8年度牧之原市国民健康保険特別会計予算

### <国保年金課>

国民健康保険特別会計の当初予算として提案するもので、予算額は50億7,866万2千円となる見込み。歳出の主な内容は、保険給付費、事業費納付金、健診等の保健事業費などを計上。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第22号 令和8年度牧之原市後期高齢者医療特別会計予算

### <国保年金課>

後期高齢者医療特別会計の当初予算として提案するもので、予算額は8億4,093万4千円となる見込み。歳出の主な内容は、広域連合への保険料、保険基盤安定負担金相当分の負担金などを計上。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第23号 令和8年度牧之原市介護保険特別会計予算

### <長寿介護課>

介護保険特別会計の当初予算として提案するもので、予算額は46億5,187万1千円となる見込み。歳出の主な内容は、第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）の保険給付費や地域支援事業費の見込額などを計上。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第24号 令和8年度牧之原市土地取得特別会計予算

### <管理検査課>

土地取得特別会計の当初予算として提案するもので、予算額は1,625万3千円となる見込み。歳出の主な内容は、榛原地域義務教育学校に係る市道用地の先行取得費などを計上。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第25号 令和8年度牧之原市農業集落排水事業特別会計予算

### <農林水産課>

農業集落排水事業特別会計の当初予算として提案するもので、予算額は376万1千円となる見込み。歳出の主な内容は、施設の管理費などを計上。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第26号 令和8年度牧之原市水道事業会計予算

### <水道課>

水道事業会計の当初予算として提案するもので、予算額は、収益的収入が9億5,397万8千円、収益的支出が9億9,012万7千円となる見込み。また、資本的収入は1億4,599万9千円、資本的支出が4億1,441万9千円となる見込みで、差引不足額2億6,842万円については、過年度分損益勘定留保資金等により補てんする。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第27号 牧之原市指定金融機関の指定について

＜会計課＞

指定金融機関の指定期間が、令和8年6月30日で満了となるため、令和8年7月1日から令和11年6月30日まで3年間、島田掛川信用金庫を再指定することについて、議会の議決を求める。

【議決予定日：3月24日】

## 議案第28号 市道路線の認定について

＜建設課＞

道路法第8条第2項の規定に基づき、1路線の認定を行うことについて、議会の議決を求める。

【議決予定日：3月24日】

### 【議会日程】

2月20日（金）	本会議	提案説明、総括質疑
3月 3日（火）	本会議	通告質疑－委員会付託、一部議案審議－採決
4日（水）	委員会	補正予算連合審査 付託議案審査
9日（月）	本会議	一般質問
10日（火）	本会議	一般質問
		一部議案 委員長報告－一部議案審議－採決
11日（水）	本会議	一般質問
12日（木）・13日（金）・16日（月）	委員会	当初予算連合審査
17日（火）	委員会	付託議案審査
24日（火）	本会議	委員長報告－審議－採決

## 令和7年度牧之原市一般会計補正予算案（第10号）の概要について

本予算は、令和7年度予算の10回目の補正である。国の補正予算により前倒し実施となる新基本計画実装・農業構造転換支援事業補助金などの計上や利用者等の増加による障害自立支援給付費の増額、普通交付税の再算定に伴う減債基金積立金の追加などのほか、各事業の決算見込みから生じる不用額、市税や企業版ふるさと納税等の決算見込みによる増額を財政調整基金へ繰り戻すことが主な内容となっている。

補正額は、1,826,972千円、率にして6.2%の減となった。

### 1 予算額

補正前予算	29,301,004千円
補正額	△1,826,972千円
補正後予算	27,474,032千円

### 2 補正予算の概要

#### (1) 歳入 △1,826,972千円

市税	54,000千円	市民税、固定資産税、軽自動車税
地方交付税	△161,932千円	普通交付税、特別交付税
国庫支出金	△812,995千円	災害等廃棄物処理事業費補助金、 農地利用効率化等支援事業他
県支出金	△83,042千円	災害救助費負担金他
寄附金	109,269千円	一般寄附金、企業版ふるさと納税
繰入金	△929,305千円	財政調整基金他
その他	△2,967千円	県道路事業補償金他

#### (2) 歳出 △1,826,972千円

基金造成費	111,472千円	減債基金積立金他
定額減税補足給付事業費	△53,200千円	定額減税補足給付金他
障害者自立支援事業費	69,293千円	介護給付費等事業扶助費他
子ども・子育て支援費	△76,500千円	民間保育園等運営費負担金他
地域医療対策事業費	△50,000千円	地域医療振興事業費補助金
塵芥処理費	△52,753千円	負担金(牧御広域、吉牧広域)他
担い手支援事業費	△58,167千円	経営発展支援事業補助金他
茶業振興事業費	216,862千円	農業構造転換支援事業補助金他
静岡地域消防広域事業費	△76,946千円	消防署榛原出張所改修工事費他
I C T活用推進事業費	△62,643千円	学習端末機器購入費
学校建設費	△60,696千円	相良地域学校用地取得費他
竜巻等災害復旧費	△1,383,520千円	災害廃棄物処理業務委託料、農地 利用効率化等事業補助金他
その他	△350,174千円	予防接種事業費他

## 令和8年度牧之原市当初予算（案）の概要について

### 1 当初予算（案）の総額

（単位：千円、％）

会計名		令和8年度 予算額	令和7年度 予算額	前年度比較		
				増減額	伸率	
一般会計		24,500,000	24,750,000	△250,000	△1.0	
特別会計		10,591,481	10,260,415	331,066	3.2	
	国民健康保険 特別会計	5,078,662	5,024,768	53,894	1.1	
	後期高齢者医療 特別会計	840,934	729,173	111,761	15.3	
	介護保険特別会計	4,651,871	4,465,020	186,851	4.2	
	土地取得特別会計	16,253	35,472	△19,219	△54.2	
	農業集落排水事業 特別会計	3,761	5,982	△2,221	△37.1	
小計		35,091,481	35,010,415	81,066	0.2	
水道事業 会計	収益的	収入	953,978	1,003,232	△49,254	△4.9
		支出	990,127	1,000,259	△10,132	△1.0
	資本的	収入	145,999	82,776	63,223	76.4
		支出	414,419	366,083	48,336	13.2
合計		36,496,027	36,376,757	119,270	0.3	

### 2 当初予算（案）の概要

#### （1）総括

##### ア 一般会計

- ・ 令和8年度の予算は245億円、前年度比2億5,000万円の減、率にして1.0%減となり、令和7年度の247億5,000万円に次ぐ過去2番目の予算額となった。
- ・ 第3次総合計画前期基本計画の最終年として、推進してきた様々なプロジェクトが実現に向けて大きく前進する集大成の年にするため、令和8年度予算を「未来への投資予算」として、未来を見据えた取組を推進する。
- ・ 具体的には、富士山型ネットワークの充実を図るため、本格化する静波地区及び地頭方地区の沿岸部活性化事業や賑わい創出拠点としての高台開発事業、海岸防潮堤の整備、デマンド乗合タクシーの拡充、静岡空港・道の駅定額タクシーの通年運行、子育て世帯に重点を置いた移住定住施策などに予算付けした。
- ・ ゼロカーボンの実現に向けた取組では、家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備

設置費補助金やオーガニックまきのはらの推進事業の継続のほか、榛原庁舎の省エネ改修、総合健康福祉センターさざんかをはじめとした公共施設の照明器具LED化を実施する。

- ・ 日本一女性にやさしいまちを目指した取組では、不妊治療費助成の拡充や新設の産後ケア施設改修費等補助金に加え、引き続き、入学支援金の支給や妊産婦通院の助成、こども食堂の支援、月3万円ビジネスなどを予算化した。
- ・ DXの推進では、物価高対策も含めた「まきペイ」の推進や、公共施設予約システムの運用開始による住民サービスに向上を図る。
- ・ 次代を切り拓く力を育むため、生成AIを活用した最先端の学びを展開するとともに、未来を担う子どもたちのための義務教育学校の整備に対し、予算措置をした。
- ・ そのほか、地域経済の活性化を図るため、ふるさと納税推進事業の強化や、田沼意次侯の顕彰事業、誘客キャンペーン事業、スポーツ合宿の支援など当市の更なる魅力を創出し、交流人口の拡大につながる事業も実施する。
- ・ 安全・安心につながる事業では、災害時に避難所となる学校体育館への空調設備の設置、津波避難タワー等への暑さ対策としてテントの設置、高潮ハザードマップ作成などについても予算配分をした。
- ・ 令和7年9月5日台風15号に伴う竜巻等災害により被災された方が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、引き続き、被災した住宅の応急修理や被災者見守り・相談支援事業についても予算付けをした。

## イ 特別会計

- ・ 国民健康保険特別会計は、事業費納付金と医療費の予測に基づく予算額である。令和8年度の事業費納付金は、子ども・子育て支援金納付分の影響もあり増加している。医療費予測は、診療報酬の改定等もあり上昇見込みだが、被保険者数の減少の影響予測も反映し、前年度並みの予算計上となった。
- ・ 後期高齢者医療特別会計は、保険料の賦課見込み等に基づく予算額である。令和8年度は2年に一度行われる後期高齢者医療保険料の改定年度に当たり、子ども・子育て支援納付金分の追加改定の影響を受けて賦課見込額が増大しており、これを受けて予算総額も上昇している。
- ・ 介護保険特別会計は、保険給付費及び地域支援事業費の見込み等に基づく予算額である。令和8年度は、第9期介護保険事業計画期間の最終年度に当たり、要支援、要介護認定者の推計値を踏まえた給付費や事業費を計上しており、給付費等の増加により予算総額も上昇している。
- ・ 土地取得特別会計は、榛原地域義務教育学校周辺道路用地を先行取得するための予算額である。
- ・ 農業集落排水事業特別会計は、元金・利子償還金の完済により予算が減額となる。

## ウ 公営企業会計

- ・ 水道事業会計は、安全で安心な水の安定供給や想定される大規模地震に備え水道施設の耐震化に取り組み、また、静岡県水道広域化推進プランに基づき、水道料金システムを共同調達するための予算額である。

## (2) 歳入（一般会計）

- 市税は、前年度を下回る 7,714,243 千円（前年度比 2.9%減）を計上した。固定資産税の内、償却資産は設備投資の減少により減額、法人市民税は、為替や原材料費高騰などの影響により大幅に減額、市民税全体では 220,520 千円（前年度比 7.1%）の減額を見込んだ。
- 地方特例交付金は、環境性能割の廃止に伴う、自動車税及び軽自動車税の減少分の補填などから前年度比 120.9%増の 91,000 千円とし、普通交付税は、市税等の減収から、150,000 千円増の 2,450,000 千円、特別交付税は前年度と同額の 350,000 千円を計上した。
- 国庫支出金の 69,978 千円（前年度比 2.2%増）の増額は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などによるものである。
- 県支出金は、竜巻等災害により被災した住宅の応急修理に係る災害救助費負担金、介護保険関連施設整備事業、給食費無償化に伴う給食費負担軽減交付金などにより 61,109 千円（前年度比 3.3%増）の増額となっている。
- 寄附金は、ふるさと納税寄附額の増加見込みにより 600,000 千円（前年度比 85.7%増）の増額となった。
- 諸収入は、地域総合整備資金の繰上償還による減や給食費無償化に伴う学校給食費納付金の減額により、51,239 千円（前年度比 7.3%減）の減額となった。
- 市債については、庁舎省エネ改修工事、沿岸部活性化事業などの増額要因はあるが、義務教育学校建設事業費の減や牧之原消防署榛原出張所新築工事の完了などから、595,800 千円（前年度比 20.8%減）の大幅な減額となり、2,264,700 千円になった。
- また、財源調整として、財政調整基金 1,500,000 千円、公債費へ充当するために減債基金 300,000 千円の繰入金を計上した。

## (3) 歳出（一般会計）

令和 8 年度に実施する事業を総合計画における 7 つの政策により整理した主要な事業は、以下のとおりである。（予算参考資料の「令和 8 年度 主要事業等」参照）

◎印は、第 3 次総合計画における重点戦略・プロジェクトを示す。

### ア 防災

<b>農村地域防災減災事業</b> 市内 83 のため池のうち防災重点ため池の指定を受けた 65 池について、県と協力しながら大規模地震に備えた耐震化整備を進める。	1,025 万円
<b>◎地頭方漁港海岸防潮堤整備事業</b> レベル 1 津波から生命・財産等を守るため、地頭方漁港海岸の護岸・胸壁・陸間の海岸保全施設の整備を実施する。	1 億 5,400 万円
<b>プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業費補助金</b> 市民の生命財産を守るため、昭和 56 年 5 月以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するとともに、避難経路の寸断を防ぐため、倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去及び改善事業を推進する。	3,212 万円
<b>静岡地域消防救急広域化事業</b> 静岡市に消防業務の委託をすることで、広域構成市町のスケールメリットを生かした災害対応力の充実強化とより一層の住民サービスの向上を図る。	6 億 5,812 万円

<b>同報無線設備更新工事&lt;新規&gt;</b> 同報無線設備の一部が耐用年数に達することから、機器の更新を行う。	4,000万円
<b>放射線防護施設管理費</b> 放射線防護施設に係る外部と通信する衛星携帯電話、避難者の衛生を保つミストシャワー、浄化フィルターの更新。	2,505万円
<b>原子力災害対策事業</b> 原子力災害時に確実に安全な広域避難ができるように、広域避難先市町と避難者の受け入れ、避難経由所及び避難所の運営について協議を行う。	708万円

## イ 健康福祉

<b>要配慮者避難確保事業</b> 自力での避難が困難な要配慮者に対し、災害時に誰一人取り残されずに避難できる支援体制の充実を図るため、個別避難計画の作成の推進や福祉避難所マニュアルの整備を行う。	167万円
<b>被災者見守り・相談支援等事業</b> 応急仮設住宅に入居するなど、被災前とは大きく異なった環境に置かれることとなった被災者に対し、孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行ったうえで被災者を各専門機関へつなぐ等の支援を行う。	2,029万円
<b>養護老人ホーム相寿園改修工事</b> 養護老人ホーム相寿園の入所者が安全・安心して生活するために、施設改修工事を行う。	8,624万円
<b>放課後児童クラブ運営事業</b> 仕事等により保護者が昼間家庭にいない小学生に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の仕事と子育ての両立を推進する。	1億8,788万円
<b>◎入学支援金支給事業</b> 小学校入学時における経済的な負担の軽減及び牧之原市に住み続けてもらえるように支援金を支給する。	693万円
<b>こども発達支援事業費</b> 発達の遅れや偏りなど、発達に課題のある児童へ療育支援を継続して行うための体制づくりを進め、子どもの自立を促すための事業を実施する。	322万円
<b>こども食堂支援事業</b> 市内で地域食堂を実施する団体に対して、その活動を支援するための補助事業を実施する。	245万円
<b>◎こども医療費助成事業</b> 子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な成長のため、18歳年度末までの児童の医療費を助成する。	1億9,908万円
<b>◎離婚前後家庭支援事業&lt;新規&gt;</b> 離婚前後のひとり親家庭に対し、養育費の取決め(公証手数料や裁判費用)や確保(養育費保証サービスの保証料)に関する費用の一部を助成する。	51万円

<p><b>◎こどもの居場所運営事業</b></p> <p>こどもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感・人や社会と関わる力・生活習慣・学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育むため、こどもの居場所として運用をする。</p>	346万円
<p><b>◎子どものための教育・保育給付事業</b></p> <p>私立保育園や私立認定こども園等が行う教育・保育サービスをスムーズに提供できるよう施設型給付費を支払うことにより園運営の推進を図る。</p>	10億6,535万円
<p><b>◎こども誰でも通園制度給付事業&lt;新規&gt;</b></p> <p>全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するため月10時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる通園給付事業を開始する。 (対象:6ヶ月から満3歳未満で保育所に通っていないこども)</p>	718万円
<p><b>◎地域医療振興事業</b></p> <p>地域の医師不足等に対応するため、診療所等を開設する医師に対し、開設支援の補助金を交付する。また、医療従事者の確保が共通の課題である榛原総合病院と連携し、静波サーフスタジアムを活用した全国の医療従事者対象サーフィン大会の開催等により、地域医療体制の推進を図る。</p>	5,071万円
<p><b>◎産後ケア施設改修費等補助金&lt;新規&gt;</b></p> <p>身近な場所で出産後の育児支援を必要とする母子への心身の安定及び健やかな育児を支援する産後ケア事業の実施者に対して、施設の修繕、備品等の整備に必要な支援を行う。</p>	50万円
<p><b>◎妊婦のための支援交付金事業</b></p> <p>妊娠から出産、子育てまでの経済的負担を軽減するため、助成金を支給する。</p>	1,681万円
<p><b>◎妊産婦通院等支援事業</b></p> <p>市内に出産可能な産科がないことに伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成する。</p>	510万円
<p><b>◎妊産婦特定疾病医療費助成事業</b></p> <p>妊娠期に起こりやすい5疾病（妊娠高血圧症候群、糖尿病、貧血、切迫流産、切迫早産）の治療費を助成し経済的支援をすることで、早期治療を促し母体の健康と胎児の健全育成を図る。</p>	70万円
<p><b>◎不妊治療費助成事業&lt;R8 全額助成&gt;</b></p> <p>妊娠出産を望む夫婦の不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、不妊治療に係る医療費の全額を助成する。</p>	600万円

## ウ 教育文化

<p><b>英語力向上サポート事業</b></p> <p>外国人英語指導助手を配置し、語学力の向上により、国際理解教育の推進を図る。</p>	2,200万円
<p><b>◎ICT活用推進事業</b></p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を実現し、個別最適化された授業を展開するため、一人一台端末などのICT機器、ソフトウェアを整備・管理・更新、活用の推進を行う事業。</p>	5,456万円

<p><b>◎外国人児童生徒教育支援事業</b></p> <p>日本語での会話や読み書き等が不十分な児童生徒に対し、学習への適応指導を図るため、日本語初期支援教室で、日本語支援及び保護者との相談活動等を実施する。</p>	1, 803万円
<p><b>◎義務教育学校建設事業</b></p> <p>学校施設整備基本構想・基本計画に基づき、榛原地域義務教育学校及び相良地域義務教育学校の建設に係る業務を行う。</p>	2億5, 583万円
<p><b>◎義務教育学校開校準備事業&lt;新規&gt;</b></p> <p>学校施設整備基本構想・基本計画に基づき、新たな義務教育学校の開校に向けた準備を行う。</p>	805万円
<p><b>◎学校施設保全改修事業</b></p> <p>学校再編により義務教育学校が開校するまでの間も、既存の小中学校施設の維持管理を行う必要があるため、修繕計画に基づく施設改修を行う。</p>	736万円
<p><b>小学校体育館空調設備設置工事&lt;新規&gt;</b></p> <p>児童の教育活動及び災害避難所として開設される学校体育館へ空調設備を設置する。(R8 細江小、菅山小)</p>	1億6, 005万円
<p><b>◎(仮)田沼意次侯顕彰事業</b></p> <p>大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢嘶～」の放送は令和7年12月で終了したが、大河ドラマの「遺産(レガシー)」を継承・活用し、『田沼意次ゆかりのまち・牧之原市』としてシティプロモーションを推進するとともに、意次侯の顕彰活動を通じて地域活性化や郷土愛の醸成を図る。</p>	1, 513万円
<p><b>将棋タイトル戦運営事業</b></p> <p>日本の伝統文化である将棋文化の普及・振興を図るとともに、交流人口の増加による地域の活性化につなげるため、将棋タイトル戦の誘致・開催支援及び将棋交流大会を実施する。</p>	985万円
<p><b>◎相良地域義務教育学校建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業</b></p> <p>相良地域義務教育学校の建設に伴い、建設予定地内で埋蔵文化財となっている遺跡について、文化財保護法に基づく発掘調査を実施し、遺構記録や出土品などの調査結果を記録保存する。</p>	1億1, 722万円
<p><b>給食センター厨房機器更新事業</b></p> <p>老朽化した給食センター厨房機器の適切な維持管理を行うため、更新計画に基づく厨房機器の更新を行う。</p>	1, 467万円

## エ 産業経済

<p><b>茶海外輸出等支援事業&lt;新規&gt;</b></p> <p>抹茶原料となる碾茶の輸出拡大に伴い、煎茶から碾茶へ移行するため、有機品種への改植や碾茶生産のための資材を購入する生産者が拡大しており、県と協調して補助を実施することで、碾茶の輸出を推進する生産者を支援する。</p>	1, 900万円
<p><b>◎オーガニックまきのはら推進事業</b></p> <p>市内農業の持続的な発展を図るため、荒廃農地の活用及び環境に配慮した農業を推進、バイオ炭の製造によるカーボクレジットの活用や「波乗りレモン」の特産化などについて支援する。</p>	526万円

<b>茶業緊急支援事業</b> 茶業振興を図るため、自ら展示会や販売会に出店し、販売促進と販路拡大を目指す茶業関係者を支援する。	600万円
<b>◎がんばる中小企業応援事業</b> 中小企業者等の経営課題等に対し、解決までの筋道を提示できる牧之原市ビジネスサポートデスク（まきサポ）を設置し、経営改善、創業などの相談を受ける。	206万円
<b>◎スタートアップ支援事業</b> 地域資源を活用したスタートアップのビジネスプランコンテスト（まきチャレ）を実施し、優秀プランについては実装に向けた伴走支援を行う。	413万円
<b>◎育児休業取得支援事業</b> 働き続けながら子育てを行う労働者の雇用の継続を図るための就業環境整備に取り組む中小企業等の事業主に対して、働き方に関するアドバイザー派遣や男性従業員が育児休業を取得した場合に当該企業等に奨励金を支給することで、労働者の雇用の安定を推進する。	20万円
<b>◎物価高騰対応生活応援事業&lt;新規&gt;</b> 食料品や燃料等の物価高騰により影響を受けている市民を支援するため、牧之原市デジタル通貨「まきペイ」を活用した「まきペイ」ポイントカードを支給することで、市民の経済的負担を軽減するとともに、市内経済の活性化につなげる。	3億3,638万円
<b>ふるさと納税推進事業</b> 市の魅力をPRして全国から寄附を募り、返礼品を通じて魅力を発信することで、財源の確保をはじめ、地域産業の活性化や交流人口の増加を図る。	6億5,163万円
<b>ふるさと商品創出支援事業&lt;新規&gt;</b> ふるさと納税の寄附額増加を目的に、事業者による魅力ある新たな返礼品の開発を支援するため、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング（ふるさと納税 3.0）を行い、初期投資費用を確保する。	1,584万円
<b>企業立地促進事業</b> 新規立地する企業に対し、土地取得費及び新規雇用に係る初期投資を対象に補助金を交付する。	2,760万円
<b>戦略的企業誘致推進事業費&lt;新規&gt;</b> 企業誘致による安定した財源の確保と持続的な雇用創出を図るため、企業・経済動向を把握するとともに、市内未利用地・遊休地を有効活用した新たな事業用地の確保に向けた取組を推進する。	742万円
<b>◎沿岸部活性化事業</b> 静波海岸及び静波サーフスタジアム周辺エリアにおいて、サーフスポット及び観光地としての更なる魅力向上や地域の活性化を目指し、官民が連携したエリア開発を推進する。また、地頭方地区では、地域と連携して海浜公園を核とした観光拠点の整備を図る。	3億3,052万円
<b>海水浴場開設及び海岸整備事業</b> 県内最大規模を誇る静波海水浴場と遠浅で白砂が美しいながらサンビーチの年間の管理・運営を行い、海水浴客の誘客・マリンレジャーの振興や活用により牧之原市を広くPRし、観光業への経済波及効果の拡大、また情報・人的な交流を図る。	5,731万円

<b>温泉会館大規模改修事業</b> さがら子生れ温泉会館は、泉質の評判もよく老若男女と幅広い方々のふれあいの場となっているため、計画的に施設改修を行う。	350万円
<b>RIDE ON MAKINOHARA 誘客キャンペーン事業</b> 物価高騰の影響により、宿泊代や飲食代等の観光に係る費用が近年増加している。消費者の観光意欲を高め、市内宿泊者の確保及び観光消費額の拡大を図るため事業を実施する。	3,500万円

## オ 都市基盤

<b>農業集落排水転換事業</b> 笠名地区の農業集落排水事業において、処理機器の老朽化等により、個人管理型合併浄化槽へ転換を行い、農業集落排水事業を廃止する。	6,600万円
<b>道路ストック補修支援事業</b> 道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面などの傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。	1億1,030万円
<b>◎道路メンテナンス事業</b> 道路の点検結果を踏まえ策定する長寿命化計画に基づき行う事業で、劣化、損傷が著しく進行している橋梁、トンネルの構造物を計画的かつ予防的に補修を行い、道路交通の安全性を確保する。	6,000万円
<b>◎相良牧之原ⅠC北側地域整備事業</b> ⅠC北側土地区画整理事業に伴う交通量の増加に対応するため、国道473号と市道東萩間5号線が交わる交差点の改良及び交差点周辺の排水計画の見直しを行う。	8,200万円
<b>◎交付金等道路整備事業</b> 地域住民の生活交通利便性向上のための道路改良を行い、市内の交通の円滑化を図る。(市道東中海老江線、市道静波中央幹線、市道須々木大溝線、市道菅ヶ谷本線、市道東萩間5号線整備事業費)	5億382万円
<b>◎浸水対策事業</b> 冠水被害が多発する仁田地区における治水対策の検討結果に基づき、河川整備等の詳細設計を行う。	9,360万円
<b>高潮ハザードマップ作成事業&lt;新規&gt;</b> 令和3年7月に水防法が改正されたことを受け、県が高潮浸水想定区域を指定したことにより、作成を義務付けられたハザードマップを作成する。	1,150万円
<b>◎白井町丁田Ⅰ地区急傾斜地崩壊対策事業</b> 急傾斜地崩壊対策事業(県事業)に伴う負担金。	150万円
<b>県港湾整備事業負担金</b> 沿岸部の防災対策や環境整備のため、県による海岸施設の整備及び港湾施設の改良工事(相良港防波堤改良等)及び御前崎港の港湾計画改定に向けた調査等の実施に伴う負担金。	3,108万円

<p><b>◎都市計画マスタープラン改訂事業&lt;新規&gt;</b> 平成 28 年に策定した都市計画マスタープランについて、概ね 10 年を経過することから、令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 か年で改訂(中間見直し)を行う。</p>	9 4 0 万円
<p><b>◎新拠点開発推進事業</b> 東名高速道路相良牧之原 I C 北側地区における商業・産業施設、住宅、公園等を備えた新たな都市拠点の創出等に向けて、牧之原市 I C 北側土地区画整理組合の支援等を実施する。</p>	4, 0 1 4 万円
<p><b>◎公園整備事業</b> 公園・緑地メンテナンス計画に基づき、油田の里公園内の水車小屋改修工事や牧之原 I C 北側土地区画整理事業区域内の第一公園及び第二公園を整備していくため詳細設計を実施する。</p>	3, 0 9 3 万円
<p><b>市営住宅管理代行業務委託事業</b> 住民サービスの向上と行政サービスの効率化及び職員の負担軽減を図るため、公営住宅法に基づき、市営住宅の管理業務を静岡県住宅供給公社に委託する。</p>	2, 5 8 9 万円
<p><b>空き家・空き地利活用推進事業</b> 所有者不存在の特定空家について、解体撤去工事を実施する。</p>	3, 6 7 3 万円

## カ 生活環境

<p><b>◎富士山型交通ネットワーク形成に係る調査、計画策定事業&lt;新規&gt;</b> 公共交通計画の策定に併せて、高台エリアの人流分析や、バスターミナルと西部方面の接続や適正便数の確保など、既存路線の再編を含めたシミュレーション調査を行う。</p>	1, 2 0 0 万円
<p><b>◎バス通学定期券補助金</b> 日常的に利用する高校生等のバス利用促進を図ることで、安定的な路線バスの維持や物価高騰による家計支援等を目的に、高校生等の通学定期券の購入補助を実施する。</p>	4 4 0 万円
<p><b>◎デマンド乗合タクシー拡充事業</b> 国の交通空白緊急解消事業を活用し、現在運行していない土日祝の実証運行を実施する。</p>	3 6 0 万円
<p><b>◎公共交通推進事業</b> 市民の生活交通を確保するため、JR 駅を結ぶ路線バス、高齢者等の通院、買物等のためのデマンド乗合タクシーを運行する。</p>	2 億 1, 8 1 0 万円
<p><b>◎静岡空港・道の駅定額タクシー通年運行事業</b> 市民の静岡空港と道の駅への移動手段及び静岡空港から市内への観光客の移動手段として定額料金のタクシーを運行する。</p>	3 1 0 万円
<p><b>◎移住・定住促進補助事業</b> 市外からの移住や定住を促進するため、市の魅力を発信するとともに受入れの体制確立や移住の支援事業を行う。(移住セミナー等への参加、移住者就業支援サービス、移住体験ツアーの実施)</p>	1 6 2 万円

<p><b>◎移住・定住促進補助事業（定住促進奨励事業）</b> 市への移住・定住を促進するため、市への居住を節目に条件を満たした場合に補助金などを交付する。（子育て家族定住奨励金、新婚新生活支援助成金、しあわせ新婚さん家賃助成金、移住就業支援金）</p>	4, 5 5 0 万円
<p><b>◎創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助事業</b> 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組を各家庭に広げるため、家庭用の創エネ・省エネ・蓄エネの機器等を設置した場合に補助金を交付する。</p>	4 2 0 万円
<p><b>◎省エネルギー診断奨励金</b> 省エネ診断を実施した事業者に対し奨励金を交付することで、2050年カーボンニュートラルの実現に向けてさらに省エネルギーを推進する。</p>	3 2 万円
<p><b>新火葬場整備事業</b> 一部事務組合で管理運営している二つの火葬場の老朽化等に伴い、両施設を統合し、新たな火葬場の整備を実施する。</p>	1 億 9, 5 2 2 万円

キ 市政経営

<p><b>◎榛原庁舎省エネ改修工事&lt;新規&gt;</b> 榛原庁舎について、省エネルギー改修(空調改修、LED化、2重ガラスへの取替等)を行い、「ZEB ready」認証を取得した施設へ改修する。(令和8年、令和9年の2箇年計画)</p>	3 億 6, 5 7 2 万円
<p><b>榛原庁舎津波対策工事&lt;新規&gt;</b> 津波等による榛原庁舎1階機械室の浸水を防止し、庁舎機能の停止を回避するため、止水板及び防潮壁の設置工事を実施する。</p>	1, 3 2 0 万円
<p><b>◎学校跡地利活用検討事業</b> 「学校再編計画」に基づく2校の義務教育学校の設置により、閉校が見込まれる10校のうち9校の学校跡地についての利活用の検討を進める。</p>	4 6 万円
<p><b>◎公民連携まちづくり事業</b> 若者や女性の減少に向けて、公民連携で新しい働き方や暮らし方を創出する。令和6年度に引き続き、女性が趣味や特技を活かし、子育てなどと両立した働き方を創出する「月3万円ビジネス」の実践プログラムなどに係る業務委託を行う。</p>	5 0 1 万円
<p><b>◎多文化共生推進事業</b> 増加する外国籍住民と住民が支え合いながら生活できるまちづくりを進めるために、外国籍住民相談窓口の運営、多言語翻訳タブレットの利用など、円滑な多文化共生を図る。</p>	1, 9 0 9 万円
<p><b>◎ホストタウン推進事業</b> 2020東京五輪事前合宿を実施したUSAサーフィンチームとの交流事業を継続して推進し、五輪レガシーを通じた地域活性化を図る。また、選手や関係者への日本文化体験を行い、市の魅力をSNS等で発信していただき、海外からの交流人口の拡大につなげる。</p>	1, 2 1 6 万円
<p><b>窓口業務委託事業（税務管理費、窓口事務費）</b> 窓口業務等を民間事業者に一体的に委託することにより、安定的な市民サービスを提供するとともに、民間事業者のノウハウを活用し、市民満足度の高い窓口サービスの実現を図る。</p>	6, 6 6 6 万円

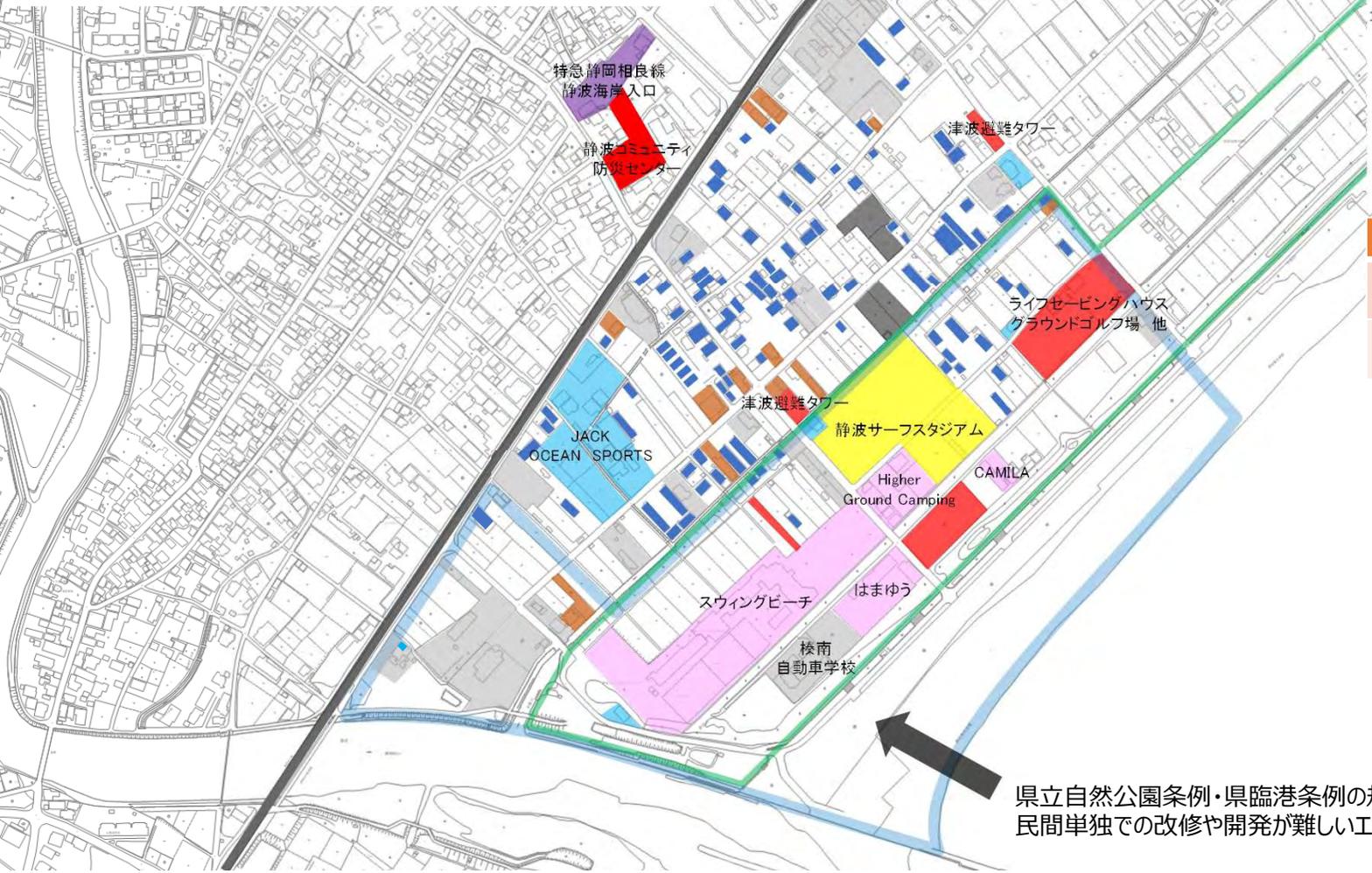
<p><b>牧之原市水道事業負担金&lt;新規&gt;</b>  大井川流域(右岸地域)水道事業体のコスト削減及びセキュリティ強化を目的に、水道料金システムを共同調達する。  衛星を用いた漏水箇所検知及びA I解析事業。</p>	<p>2, 7 6 1 万円</p>
<p><b>大井川広域水道企業団出資金</b>  大井川広域水道と榛南水道の経営統合に伴う出資金。</p>	<p>3 億 1, 4 6 6 万円</p>

# 静波地区沿岸部活性化について

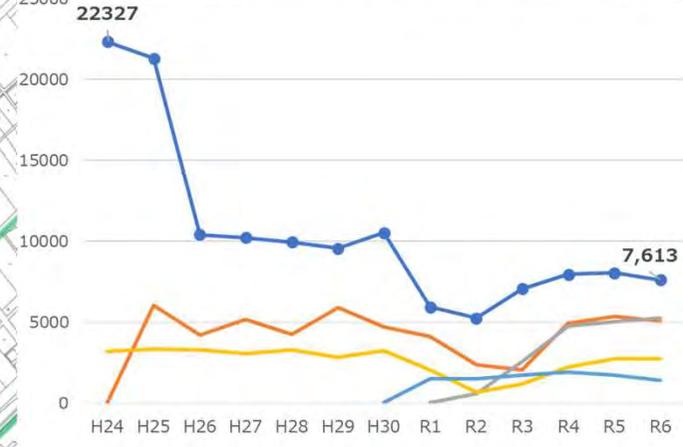


# 静波エリアの状況

静波海水浴場や静波サーフスタジアムなど、マリンレジャー・スポーツの拠点が効果的に連携していない。  
 ⇒エリア一体となった地方創生を進めることが課題



市内宿泊施設（5施設抜粋）の状況



	R5観光客	R5宿泊客	割合
静岡県	120,931千人	18,671千人	13.4%
牧之原市	1,512千人	40千人	2.6%

滞在時間が短く、通過点になっているため、観光消費単価が低くなり、集客が経済効果に反映しにくい。（宿泊機能の充実が課題）

- 計画エリア（案）
- 静岡県立自然公園（第3種）
- 静岡県榛原臨港地区（商工区）
- 【区域内の施設】
- 静波サーフスタジアム
- 宿泊施設
- 公共施設
- 飲食店
- サーフショップ
- 住宅
- その他事業での土地利用

# 取組の経緯と今後のスケジュール（案）

## 令和5年度

令和6年1月 関係する事業者などと今後の方向性についての協議を開始

## 令和6年度

令和6年7月 エリア内の事業者などとの調整

**9月 ホテルを含めたエリアの利活用について、市主体での検討を開始**

エリア全体を周遊する通年型の活性化構想の作成委託（株式会社楽帆）

## 令和7年度

令和7年 **4月 構想案を基に、関係する事業者等との調整、事業計画案の検討**

8月 新しい地方経済生活環境交付金（第二世代交付金）の事業計画の採択

**12月 今後のエリア再生の中核となるSPC資産保有会社が設立**

令和8年1月 出資事業者、エリア内の事業者などとの調整

2月 地権者及び地域住民向け説明会

令和8年度当初予算（関連予算）の市議会への説明

定例記者懇談会（報道機関への説明）

**時期未定 牧之原市、SPC、静岡銀行などによる記者発表**

## 令和8年度

（民間）ホテルの資産、法人をSPCが取得  
ホテル、温浴施設の実施設計

（行政）公園の実施設計

## 令和9年度

（民間）ホテルの改修（R10.3完成）  
温浴施設の整備

（行政）公園（スケボーパーク）実施設計

## 令和10年度

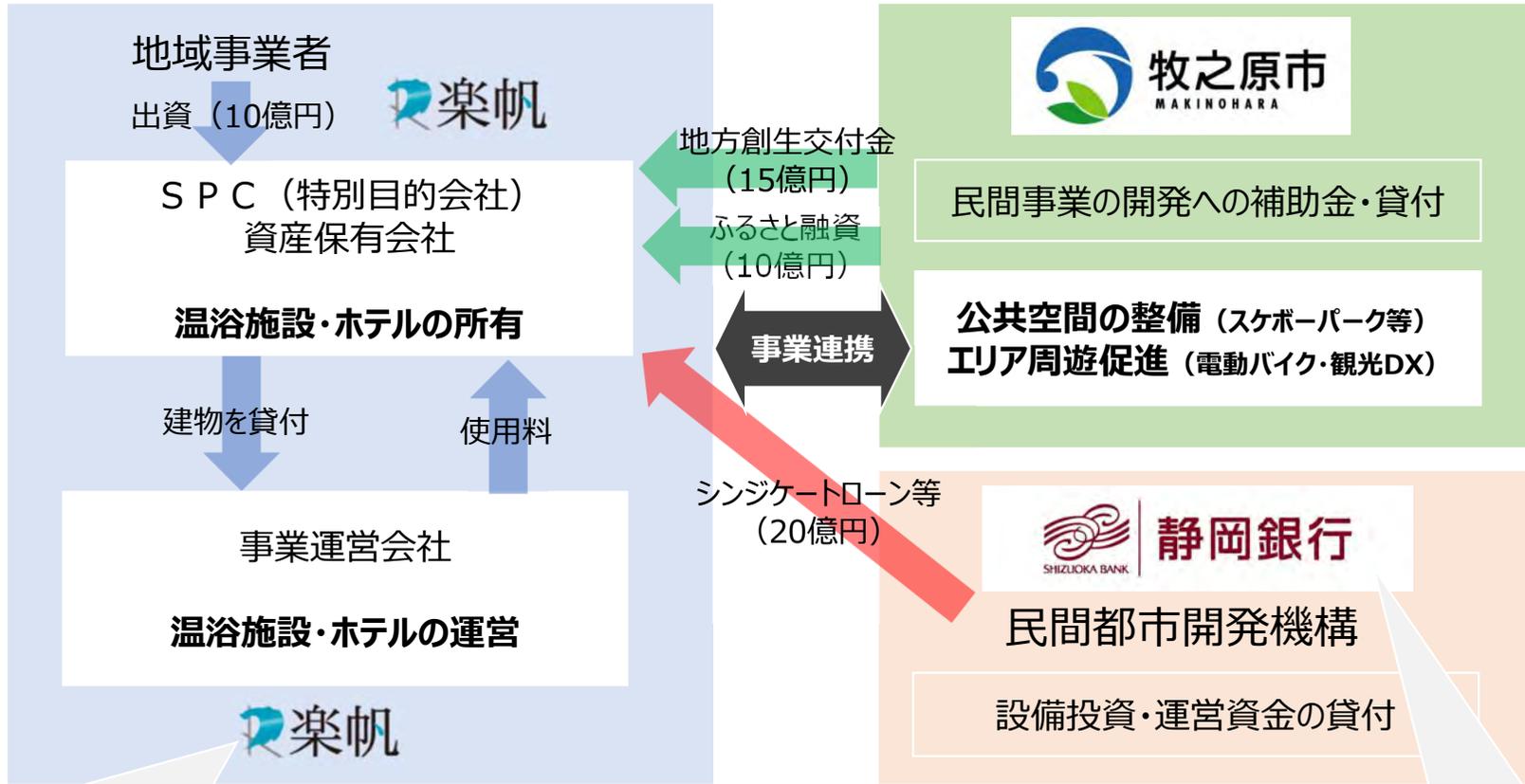
（民間）温浴施設の整備（R10.7完成）  
中庭プールの改修（R11.3完成）

（行政）公園の整備（R11.3完成）

（令和10年度末までに関連する施設整備を完了）



# 行政、地域事業者、金融機関が連携した実施体制



株式会社楽帆 代表取締役 北村尚武  
全国でホテル運営の実績多数

Springs Shirahama (ベーカリー・ドッグホテル)  
ONOMICHI U2 (サイクリストホテル) など



牧之原市と包括連携協定を締結  
静波海岸の活性化事業に企画段階  
から協力

# 各施設のイメージ図



# グリーンモビリティの導入

防砂林で分断されたまちと海。それをつなぐ“小道”との出逢い。



松林、海、サーフィン文化など  
現在ある資源の魅力再発見

**glafit**  
グラフィット

小道の移動、移動の観光  
そして災害時の避難誘導へ

FEATURE 01  
一生こがずに  
前に進もう。



免許いらず  
ヘルメットいらず  
16歳以上なら誰でも



気軽に移動  
気楽に観光

次世代シニアカーにも。安心、安全、楽しい外出。

NEW  
4輪型特定小型原動機付自転車  
**WAKU MOBI**

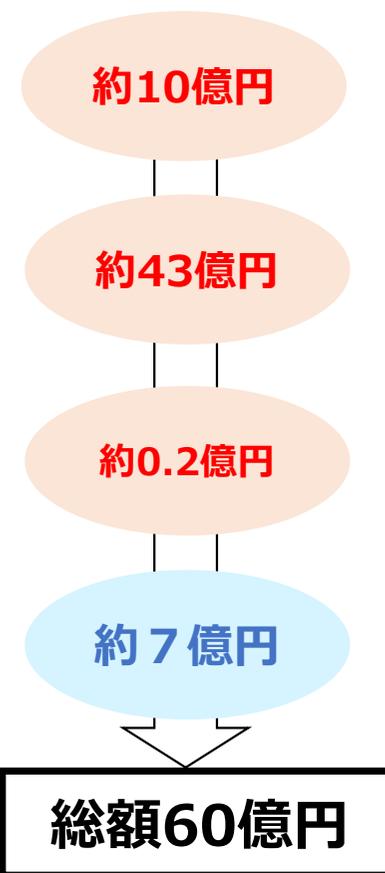
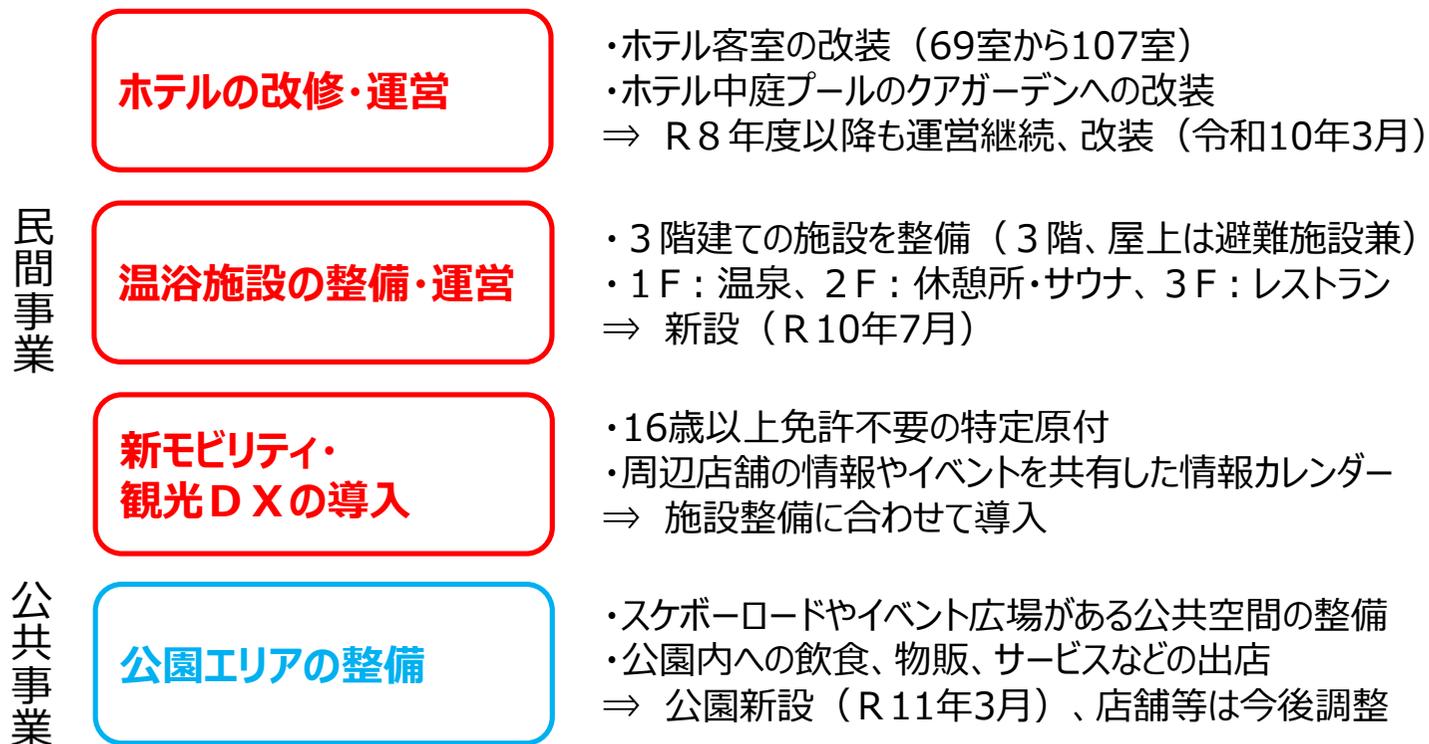
2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）  
ロボットエクスペリエンスにて展示



glafit HPより  
Copyright © 2023 Rakuhan Group, Ishibashi Tokugawa Architectural Design Office. All rights reserved. Strictly Confidential 禁無断転載 不許複製

	軽車両	原動機付自転車	
該当車両	自転車等	特定原付	原付1種
glafit車両	発売未定	NFR-01 Pro 	GFR-02 
運転免許	不要	不要 (16歳未満運転不可)	必須
ヘルメットの着用	努力義務	努力義務	必須
法定最高速度	-	20km/h	30km/h
ナンバープレート	-		
自賠責保険	-	必要	必要
走行場所	車道、自転車道 専用通行帯、 自転車通行可能な歩道、 路側帯	車道、自転車道 専用通行帯 6キロモード (特例特定原付モードのみ) 自転車通行可能な歩道、 路側帯	車道のみ

# 関係事業者の連携体制



エリア内の周遊を促進し、地域住民の日常利用と観光客の呼び込みの両立を実現

関係者と連携し、約5haのエリア全体での公民連携プロジェクトとして実施

## 令和8年度牧之原市役所組織体制（案）について

令和8年度の組織体制については、第3次総合計画前期計画の4年目を迎えるに当たり、限られた人員と財源の中で、重点戦略・プロジェクトを着実に推進し、より効果的な行政運営を図るため、業務の集約や役割の明確化を基本として、組織体制の見直しを行います。

### 1 組織体制(案)について

令和8年度の組織体制での主な変更点は次のとおりです。

#### 【総務部】

- (1) DX施策をより戦略的に推進するため、これまで「管理検査課施設管理係」で所管している電算システムの管理を「デジタル推進課」に集約します。
- (2) 「管理検査課入札検査係」が所管する義務教育学校建設に伴う学校跡地の利活用や指定管理施設に関する業務と、「地域振興課地域政策係」で所管している公共施設マネジメントの一元化を図ります。  
公共施設全体を横断的に管理するため、「資産経営課」を新設し、公共施設マネジメントの強化を図ります。

#### 【福祉こども部】

- (1) 複合的な課題を抱える世帯への重層的支援や持続可能な支援体制の構築のため、相談体制を再編します。  
福祉相談課を中心とした重層的相談支援のため「生活支援係」を「相談支援係」に改め、生活困窮関係事務を「社会福祉課地域福祉係」に移管します。
- (2) 令和7年台風15号に伴う竜巻等災害の復旧から復興までを一体的に進めるため、部局横断的な調整を行う「復興支援室」を設置します。

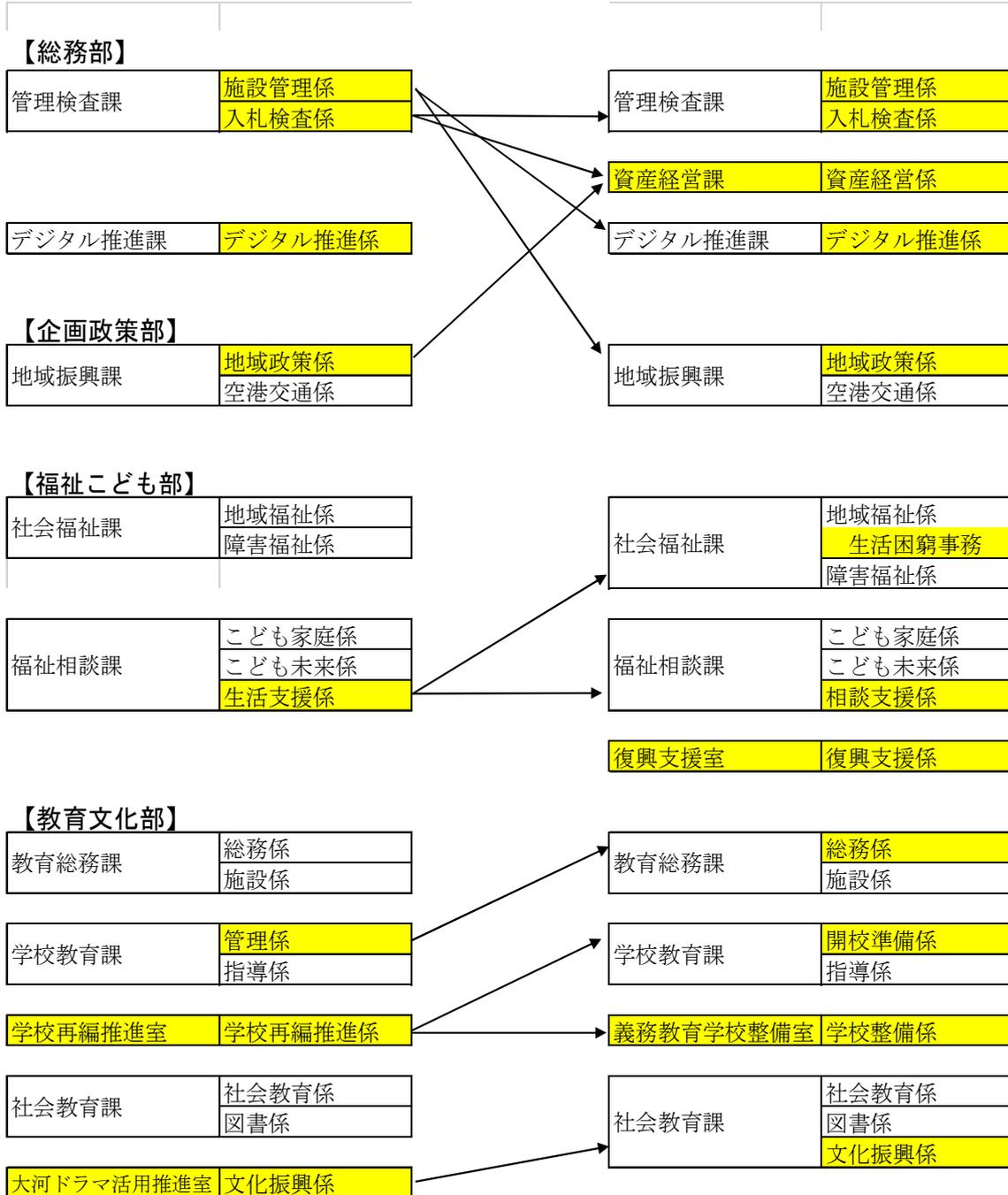
#### 【教育文化部】

- (1) 学校現場の負担の軽減と事務の効率化を図るため、「学校教育課管理係」が所管している学校に関する庶務事務を「教育総務課総務係」に集約します。
- (2) 義務教育学校の開校に向け、準備業務が本格化することから、学校教育課に「開校準備係」を設置します。
- (3) 事務の進捗段階に応じて組織名称を見直し、「学校再編推進室」を「義務教育学校整備室」に改めます。
- (4) 大河ドラマ関連事業の完了に伴い、「大河ドラマ活用推進室」を廃止し、通常業務として、社会教育課に統合します。

## 2 組織機構図(案)

令和7年度 8部2局30課3室 65係

令和8年度 8部2局31課3室 67係(別添のとおり)





## 静岡市消防局牧之原消防署榛原出張所落成式 及び管理委任書交付式等について

当市の消防力の体制強化のため、現在牧之原消防署が管轄している相良地区と、吉田消防署が管轄している榛原地区について、令和8年4月1日から市内全域を牧之原消防署が管轄し、消防空白地域の榛原地区に牧之原消防署榛原出張所を建設しました。

これに先立ち、下記のとおり、落成式及び管理委任書交付式、静岡市消防局牧之原指揮隊発隊式を執り行います。

### 1 牧之原消防署榛原出張所の概要について

- (1) 所在地 牧之原市細江 4405 番地 1
- (2) 地籍 2199.71 m<sup>2</sup> (665.41 坪)
- (3) 構造 鉄骨造平屋建
- (4) 延べ床面積 541.49 m<sup>2</sup>
- (5) 配置人数 10 名
- (6) 配置車両 水槽付き消防ポンプ自動車、救急車 各 1 台、計 2 台
- (7) 工期 令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月
- (8) その他 元金融機関の支店（平成 27 年 10 月新築）を改築し活用。
- (9) 発注者 牧之原市

### 2 落成式及び管理委任書交付式について

- (1) 日時 令和 8 年 3 月 22 日（日）午前 10 時から午前 11 時まで
- (2) 場所 牧之原消防署榛原出張所
- (3) 出席者 市長、静岡市長、静岡市消防局長、牧之原消防署長、  
牧之原市議会議長、牧之原市議会副議長、総務建設委員長、  
細江区出身議員、牧之原市消防団団長、消防団副団長、  
榛原地区区長、地元住民 ほか
- (4) 内容 祝辞、開所宣言 など

### 3 静岡市消防局牧之原指揮隊発隊式について

- (1) 日時 令和 8 年 3 月 30 日（月）午前 10 時 30 分から午前 11 時まで
- (2) 場所 牧之原消防署（牧之原市波津 191-1）
- (3) 出席者 市長、静岡市消防局長、牧之原消防署長 ほか
- (4) 内容 決意表明、祝辞 など
- (5) 主催 静岡市消防局

## 令和7年度牧之原市夜間地震・津波避難訓練の実施について

### 1 目的

市内全域において、夜間における地震の発生と大津波警報の発表を想定した避難訓練を実施することで、指定緊急避難場所と避難経路、避難に要する時間の再確認を行い、昼間の避難行動とは異なることを意識し、夜間に避難するうえでの安全性の確保等を検証する。

### 2 訓練想定

3月11日の午後7時〇〇分、駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度7を観測。気象庁は午後7時〇〇分、静岡県沿岸部に大津波警報を発表した。

なお、津波被害が想定されない地域では、各地域の特性やリスクを考慮し、各種ハザードマップに基づく被害を想定する。

※地震発生及び大津波警報発表の時間は午後7時から午後7時30分の間

### 3 日時、場所、対象、情報伝達の範囲

(1) 日時 令和8年3月11日(水) 午後7時～午後8時15分頃

※静岡県津波対策推進旬間における訓練として実施

(2) 訓練対象地域 市全域(全区、全町内会)

### 4 訓練重点項目

- (1) 指定緊急避難場所と避難経路の確認
- (2) 指定緊急避難場所までの所要時間の確認
- (3) わたしの避難計画の作成
- (4) 津波浸水想定区域や土砂災害危険箇所などの確認
- (5) 夜間における避難行動の安全性の確保  
⇒夜間における危険箇所の確認  
懐中電灯等の非常持出品の確認 等
- (6) 家族全員による避難訓練への参加  
⇒家族における安否確認伝達方法の確認等  
(災害用伝言ダイヤル「171」、災害用伝言板「web171」)
- (7) 自主防災会における情報伝達訓練  
⇒自主防災会区域内の避難状況等の早期把握と情報伝達
- (8) 避難行動要支援者への支援体制の検証

## 5 訓練設定時刻

時刻	状況	情報伝達手段
午後 6 時 30 分	訓練事前広報	同報無線
午後 7 時〇〇分	地震発生 <避難開始>	同報無線 サイレン吹鳴
午後 7 時〇〇分	大津波警報発表	同報無線、サイレン吹鳴 緊急速報メール配信
午後 7 時 40 分までに	自主防本部設置状況報告	地区担当班⇒情報班
午後 8 時頃までに	(避難者数集計後) 自主防本部解散報告	地区担当班⇒情報班
午後 8 時 15 分頃	訓練終了	同報無線

## 6 三役の視察先

※現在検討中のため、後日連絡します。

## 7 その他

- ・学校敷地内あるいは施設内(屋上等)に避難することに関しては学校へ通知します。  
(校舎内には立ち入らないようお願いします。)
- ・訓練実施日には、地区担当班職員を派遣します。
- ・夜間訓練ですので、事故やけがには十分注意してください。
- ・訓練中止の場合は、同報無線、メール、LINE でお知らせします。

## 牧之原市公共施設予約システムの運用開始について

### 1 概要

現在、市の公共施設を利用するためには、施設に出向き、紙の申請書に記入して予約する必要がある。また施設によっては、鍵の借用・返却のために移動が必要であるなど、利用者の負担が大きい。公共施設予約システムを導入することで、施設に出向くことなく24時間いつでも予約が可能となり、利用者の利便性が向上する。

### 2 サービスの特徴

- ・24時間365日オンラインでの施設の空き状況参照・予約が可能
- ・完全登録制（個人：18歳以上、団体：18歳以上かつ最低3人以上）
- ・マイナンバーカードを活用し、マイナ認証機能による本人確認（個人登録時のみ）
- ・キャッシュレス決済に対応（クレカ、PayPay、ペイジー、コンビニ決済）
- ・小中学校やコミュニティ施設では、スマートロック型キーボックスを設置し、鍵の受け渡しが不要に（21施設）

### 3 運用開始日時

- ・令和8年3月2日（月）午前9時～ 一般公共施設、公園等の予約開始
  - ・令和8年4月1日（水）午前9時～ 体育施設の予約開始
- ※システムの利用者登録は、2月15日からオンラインまたは施設窓口で受付中

### 4 対象施設

施設区分	施設名
一般公共施設 (14施設)	相良総合センターい〜ら、榛原文化センター、勝間田会館、川崎コミュニティ防災センター、静波コミュニティ防災センター、萩間コミュニティセンター、防災研修センター（商工会）、総合健康福祉センターさざんか、和光館、相良保健センター、老人福祉センター龍眼荘、生きがいガーデンこにた、相良いきいきセンター、農村の家
公園 (5施設)	小堤山公園、大沢公園、ふるさと体験の森公園ゆうゆうらんど、地頭方海浜公園、油田の里公園
体育施設 (18施設)	相良B&G海洋センター、相良総合グラウンド、榛原総合運動公園ぐりんぱる、片浜体育館、静波体育館、静波グラウンド、川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校、坂部小学校、相良小学校、萩間小学校、菅山小学校、地頭方小学校、牧之原小学校、相良中学校、榛原中学校、牧之原中学校

※計37施設、123室場

### 5 システム概要

- ・事業費 13,493千円（システム構築、スマートロック設置、端末購入）
- ・システムベンダー 株式会社パストラレ「いつでも貸館」  
※県内では磐田市、藤枝市、富士市、熱海市、御殿場市等13自治体で実績あり
- ・スマートロック 株式会社リモートロックジャパン「RemoteLOCK 500i」
- ・システムURL <https://k6.p-kashikan.jp/makinohara-city/>

## 相良油田の里公園「原油汲み上げと桜まつり」の開催及び 油田資料館のリニューアルオープンについて

### 1 概要

太平洋側唯一の産油地である相良油田跡地の付近に整備された相良油田の里公園は、ソメイヨシノなどの桜が植えられ3月下旬から4月上旬には花見を楽しむことができます。

今年は、桜の開花に合わせ2年に一度の「原油汲み上げと桜まつり」が開催されます。

また、相良油田の里公園の魅力向上を図るため、今年度実施している相良油田資料館リニューアル工事の完成セレモニーも併せて開催いたします。

### 2 「原油汲み上げと桜まつり」の概要

(1) 日時 令和8年4月5日(日) 午前9時から午後1時頃まで

(2) 会場 相良油田の里公園(牧之原市菅ヶ谷2525-1)

(3) 内容

- ・原油汲み上げ、汲み上げた原油によるバイク走行
- ・資料館リニューアル完成セレモニー  
(相良油田の紹介映像コンテンツ試写会、  
アニメ「Dr. STONE」PRコーナーお披露目)
- ・バンド演奏、プチマルシェ、つくたて餅配布 など



原油汲み上げ

### 3 相良油田資料館リニューアル工事の概要

(1) 施工期間 令和7年11月～令和8年3月

(2) 費用 42,233千円(※令和6年度の実施設計費等含む)

(3) リニューアルの主な内容

- ・シアタールーム整備  
(相良油田の歴史を学べる映像コンテンツ上映)
- ・デジタルサイネージ設置  
(市内の観光情報やお知らせなどを掲載)
- ・フォトスポット整備(原油汲上体験の記念撮影)
- ・たたら体験施設リニューアル
- ・アニメ「Dr. STONE」PRコーナーリニューアル  
(※現在、展示内容について出版社等と調整中)
- ・公園の園路整備、ロープウェイ遊具リニューアル

(4) 使用再開時期 リニューアル完成セレモニー後



新たなフォトスポット

資料館リニューアルOPEN!!!

# 油田の里公園

## 原油汲み上げ

&

# 桜まつり

令和8年

開催!

4月5日(日)

### スケジュール

野菜も  
あります

- 9:00 店舗販売スタート
- 10:00 ロコモーションライブ演奏   
資料館リニューアルセレモニー
- 11:00 つきたて! お餅配布①
- 11:30 油田汲み上げ
- 12:15 バイク走行 
- 12:30 つきたて! お餅配布②



### お子様イベント

- 9:00 くじ引き 
- 10:00 ホールインワン大会



桜&楽しいイベント盛り沢山!



リニューアルした資料館

主催 菅山クラブ 後援 牧之原市  
問合せ 相良油田資料館 (0548-87-2525)  
会場 相良油田の里公園 (牧之原市菅ヶ谷2525-1)

## 地域幸福度(Well-Being)指標を活用した 政策立案職員研修会の開催について

### 1 概要

市民の幸福度が向上する「まちづくり」を目指し、ウェルビーイングの概念を理解しながら政策立案手法等を学ぶ職員研修会を開催する。

この研修会には、原則、係長以下の若手職員に参加してもらい、市全体の取り組みとして、推進していくことを目指す。

Well-Being(ウェルビーイング:地域幸福度)とは…

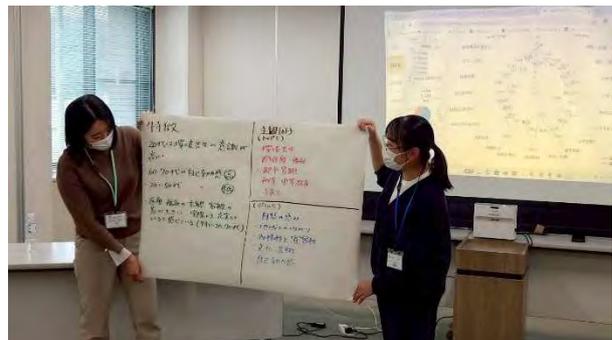
地域幸福度指標は、市民の「暮らしやすさ」や「幸福度」を数値化・可視化したもので、オープンデータから都市の暮らしやすさを数値化した客観的指標と市民アンケートから市民の暮らしやすさや幸福度を数値化した主観指標で構成されており、デジタル庁が推奨している。

### 2 内容

- (1) 日 時 令和8年3月4日(水)午後1時30分から午後4時30分まで(予定)
- (2) 会 場 就業改善センター3階(榛原庁舎水道課3階)
- (3) 参加者 各部3人(係長以下職員)計24人
- (4) 講 師 利重和彦氏(総務省地域力創造アドバイザー)  
(デジタル庁 Well-Being 指標活用ファシリテーター)
- (5) 内 容
  - ・ウェルビーイングの基礎理解
  - ・代表的な指標とデータ分析
  - ・データに基づく政策デザイン(ワークショップ)
  - ・モニタリングと評価

### 3 その他

昨年10月に開催されたデモ研修会の様子



## 地域おこし協力隊活動報告会・交流会の開催について

市では、平成27年度から地域課題の解決を目的として積極的に「地域おこし協力隊制度」を活用してまいりましたが、今年度からは従前の「会計年度任用型」に加え、「個人委託型」と「企業等連携型」を開始し、より柔軟な受入れ体制を整えております。

この報告会は、当市に移住して地域活性化に取り組む隊員が、1年間の成果、活動内容、今後の目標を行政等に向けて発表する場です。この会は、単なる報告に留まらず、隊員相互の交流・連携を深め、今後の定住・定着に向けた関係づくりの重要な機会になります。

※会計年度任用型 … 市との雇用契約により任用。

※個人委託型 … 個人と地域おこし協力隊業務を委託契約することで、勤務時間や勤務場所にとらわれず、隊員の発想及び希望に合わせた形で活動を行うことができる。

※企業等連携型 … 企業等に地域おこし協力隊業務を委託することで、市の課題解決に加え、隊員自身が企業に就職して活動を行うため、地域への溶け込みが早く、活動の幅が広がり、企業ノウハウも身につけることができる。さらに、3年の委嘱期間後の自身の就労についても、当該業者へ引き続き勤務することが選択肢として存在するため、安心感が生まれる。

- 1 報告会の概要**
  - ・地域おこし協力隊の活動成果の共有
  - ・地域課題や今後の取り組みについての理解促進
  - ・隊員と行政等との交流・連携の強化
- 2 開催日時** 令和8年3月5日（木）午前9時～正午
- 3 会場** 榛原文化センター3階 大会議室
- 4 参加隊員** 令和7年度委嘱隊員7名（詳細は別紙）
- 5 内容** プレゼン形式による報告（各隊員約10分）
- 6 その他** 市長、副市長、市職員等が隊員から報告を受け、次年度以降の連携強化を図ります。

## 新しい学校づくり報告会 ～みてみよう！ミライの学校のカタチ～ の開催について

---

### 1 概要

新しい学校づくりの進捗状況と建物の設計の考え方について、広く市民に情報共有するとともにパネルディスカッションを通して有識者や設計業者の設計への思いを聞き、開校準備や工事に向けて理解を深め、機運を高める場として報告会を開催します。

### 2 内容

- (1) 日時 令和8年3月15日(日) 午後1時30分から午後4時まで
- (2) 会場 相良総合センター い〜ら ホール(須々木140)
- (3) 対象 自治会、教職員、学校運営協議会、保護者、教育委員、県議会議員、市議会議員、一般募集等 300人程度
- (4) 内容 新しい学校づくりの進捗、榛原地域義務教育学校の基本設計の報告  
有識者によるパネルディスカッション

### 3 パネルディスカッションについて

- (1) コーディネーター
  - ・島田 桂吾氏(静岡大学教育学部准教授)
- (2) パネリスト
  - ・倉斗 綾子氏(千葉工業大学創造工学部デザイン学科教授)
  - ・石川 春乃氏(静岡理工科大学理工学部建築学科准教授)
  - ・株式会社梓設計 主任担当技術者(榛原地域義務教育学校の設計を担当)
  - ・橋本 勝氏(牧之原市教育長)



新しい学校づくり報告会

参加無料  
託児あり

# みてみよう！ ミライの学校のカタチ

令和8年

(13:00開場)

3月15日 日 13:30～16:00

[会場] 相良総合センター い〜ら ホール (牧之原市須々木140)

地域とともに進めてきた「新しい学校づくり」  
これまでの歩みと、これから描く学校の姿をわかりやすくお伝えします！  
ぜひ一緒にのぞいてみませんか？



## 報告会概要

内容

新しい学校の進捗報告／  
基本設計の報告／ パネルディスカッション

申込方法

右のQRコードから入力フォームにアクセスし、  
3月2日(月)までにお申し込みください。  
※ 託児希望の方は同時に申し込めます。

参加申込は  
こちらから



主催: 牧之原市教育委員会

問い合わせ: 牧之原市学校再編推進室 Tel: 0548-53-2640

# パネルディスカッション コーディネーター、パネリスト紹介

## コーディネーター



島田桂吾氏

静岡大学 教育学部准教授

専門は教育行政

静岡市社会教育委員会議委員や富士市教育委員会自己点検・評価に関する外部検討会の委員や当市では平成29年牧之原市教育のあり方検討委員会、令和元年学校再編計画策定委員会の委員長や榛原地域義務教育学校建設設計業務等業者選定委員を務め、長年に及び牧之原市の教育行政に関わっている

## パネリスト①

千葉工業大学 創造工学部 デザイン学科教授  
研究分野は建築計画・施設計画（学校・教育施設・こどもの環境）、  
公共施設マネジメント、コミュニティデザインなど  
文部科学省 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議の「小中一貫教育推進のための学校施設部会」「新しい時代の学校施設検討部会」の委員や  
榛原地域義務教育学校建設設計業務等業者選定委員を務める



倉斗綾子氏

## パネリスト②



石川春乃氏

静岡理工科大学 理工学部建築学科准教授  
研究分野は建築環境、公立学校の学習環境、公共施設の脱炭素計画など  
浜松市環境審議委員、静岡県の県有施設マネジメント有識者会議委員や掛川市の  
城東学園小中一貫校整備検討委員・同建築基本設計業務委託プロポーザル委員、  
榛原地域義務教育学校建設設計業務等業者選定委員（環境分野）を務める

## パネリスト③

株式会社梓設計(主任担当技術者)  
令和6年度から榛原地域義務教育学校  
建築設計業務等委託を担当

## パネリスト④

教育長 橋本勝

## 牧之原市が進める新しい学校づくりとは？

### 9年間で学び・育つ小学生と中学生と一緒に学ぶ学校

子どもたちがこれからの社会を自分らしく生きることができるよう「次代を切り拓く力」を育むため、キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを進めています。その取組が充実する学校施設として市立小中学校10校を再編し、2校の義務教育学校をつくります！

#### 相良地域

- 1【対象校】相良小学校、菅山小学校、萩間小学校、地頭方小学校、相良中学校
- 2【規模】1学年2～3クラス
- 3【場所】国道473号バイパス大沢IC北側
- 4【開校時期】令和15年度目標

#### 榛原地域

- 1【対象校】川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校、坂部小学校、榛原中学校
- 2【規模】1学年3～5クラス
- 3【場所】榛原中学校及び周辺
- 4【開校時期】令和12年度目標



詳細については  
新しい学校づくり  
QAをご覧ください

## 牧之原市教育委員会表彰表彰式について

- 1 目的 教育の各分野において功績のあった、小学校1年生以上の牧之原市民または牧之原市出身の個人・団体に対し表彰を行う。
- 2 対象 (1) 少年少女ノーベル賞受賞者 (20歳未満が対象)  
全国大会・コンクールでベスト8以上の功績のあった者  
受賞者数 6名 (令和8年2月25日現在)  
(2) 教育委員会表彰受賞者  
静岡県大会・コンクールで1位同等以上の功績のあった者  
受賞者数 6名 (令和8年2月25日現在)
- 3 開催日時 令和8年3月7日(土) 午前10時開式
- 4 会場 牧之原市相良総合センター「い〜ら」ホール
- 5 日程 (1) 開式  
(2) 来賓祝辞  
(3) 表彰  
(4) 主催者挨拶  
(5) 閉式
- 6 その他 教育委員会表彰と併せて、公益財団法人山崎こども教育振興財団主催の「山崎こども教育賞」の表彰式を行います。

### 山崎こども教育賞表彰式

- 1 目的 他の模範となるような活動を行った市内小中学校に在籍する小学6年生及び中学3年生の児童生徒に対し表彰を行う。
- 2 対象 学校から各学級1名推薦された者で、学術、文化、スポーツ、ボランティアなどで模範となる活動を行った者。

## 勝林寺出張展示及びクラウドファンディング達成墓前報告について

令和7年11月10日から令和8年1月30日まで実施した「田沼家ゆかりの名刀お国帰りプロジェクト」は、最終的に230名の皆様から総額9,685,000円のご支援をいただいた。このことを田沼意次侯の墓前に報告するとともに、首都圏の方々にも牧之原市と田沼家とのゆかりを改めて知ってもらうため、菩提寺の勝林寺で市史料館の出張展示を実施する。

### 1 概要

- (1) 名称 牧之原市史料館出張展示 in 勝林寺
- (2) 日時 令和8年3月21日(土) 午前10時～午後4時
- (3) 会場 勝林寺(東京都豊島区駒込7丁目4-14)
- (4) 入場料 無料

### 2 展示内容

- (1) 田沼家関係資料(15点程度)
  - ・田沼意次侯肖像画
  - ・田沼家家紋入り小柄
  - ・田沼意知筆「関羽読書図」
  - ・田沼家後期三代の古書画(意正・意留・意尊)
  - ・田沼意次侯発行の三貨幣(明和五匁銀、南鐮二朱銀、四文銭)
  - ・七曜紋入り什器類
- (2) 大河ドラマ「べらぼう」使用衣装 ※クラウドファンディングで購入
  - ・田沼意次袴(幕府関係の撮影時に使用) ※写真右
  - ・田沼意知袴(佐野政言の刃傷事件撮影時に使用) ※写真左  
→ 右肩から胸元にかけて切り裂かれた血のり付きの衣装

